

杉山城跡(比企郡嵐山町)

築城年代:長享2年(1488年)、築城者:山内上杉氏

市野川を挟んで「鎌倉街道」(左手)を見下ろす前方の丘陵の尾根上に、「築城の教科書」・「戦国期城郭の最高傑作のひとつ」と高く評価される杉山城跡が所在する/狭い範囲の中で、高低差を利用しながらおよそ10の郭を配置した縄張となっている [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



縄張図/本郭を中心に3方向へ郭を広げる連郭式平山城/横矢掛かりを駆使した防御機能(塁線には折歪(おりひずみ)と呼ばれる敵方に対して見通しを悪くするための屈曲を多用し、虎口にはほぼ例外なく進入方向の側面から矢を射掛ける横矢が仕掛けられる等の防御施設)が各所に見られる



杉山城跡の鳥観図



まずは赤丸の出郭から大手口→外郭→馬出郭→南三の郭→南二の郭→井戸郭→南三の郭西虎口→帯郭→井戸跡、そして中心部の本郭へと進もう



ここは丘陵の北東側で、右手前方に見学者用の駐車場が整備されている/手前に標柱がある



右手が「埼玉県指定史跡 杉山城跡」



正面の丘陵に杉山城跡が展開している/北東側から見たところ/駐車場には既に先客が・・・

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



丘陵の右手へ少し進んで見たところ/この先に北側からの登城口がある



さて、ここが駐車場/左手が丘陵の裾



杉山城跡への案内板が立っていた



右手の道路を進む/左手は玉ノ岡中学校の敷地

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



少し進むと、右手に民家が見えてきた/左端の建物は玉ノ岡中学校の校舎



道端にはこんな石造物も・・・



この民家は杉山城跡の山の地主さんの家のようなが・・・/正面に行き先表示板が立っている



杉山城跡

出郭・大手口方面



高山町教育委員会 文化スポーツ課

近くには古い説明板が辛うじて立っていた



劣化していて良く読めない



埼玉県指定史跡

杉山城跡

北定 昭和二十一年二月二十九日

所在 大宮市杉山 一六〇一四

時代 戦国時代

面積 一六〇〇平方メートル

西 市の川の流を隔てて鎌倉街道が南北に通じ、北に越前
城・四津山城、南に杉山の史跡が並び、南から東に掛けて
谷館跡・大宮館跡・小倉城跡・青島城跡・松山城跡等の遺跡が
散在している。この一帯は戦国時代、城主等不詳であるが、一説
には室町時代の幕府に杉山城主上田氏の家臣・杉山主水の居城
と伝えられる。

この地方は、戦国時代に於ける武将・活躍の舞台で、杉山城
は山城として重要視されたものと思われる。その規模未なりと
は、遺跡が土塁・空堀等戦国時代築城の様式をそのまま残し
、城跡の白眉と認められている。

昭和四十九年一月

嵐山町教育委員会

さて、行き先表示板に従って出郭・大手口方面へと進む



玉ノ岡中学校の校舎が見えてきた/右上が出郭



この平場が出郭



右手を見ると説明板が立っており、その向こうが大手口になる/ここが南側からの登城口



さて、ここは丘陵の南東側で、左手に進むとこちらからも出郭・大手口にアクセスできる/右手に標柱が立っている





途中、積善寺の標柱も立っている/右前方に玉ノ岡中学校の校舎が見える



更に進む



ここを左手に進む/角に石造物が並んでいる



こな塩梅



前方に積善寺の本堂が見えてきた



積善寺の墓地裏が大手口

(クリックしてビデオを見る)



そこで左手を見たところ/正面の木々の向こうが大手口のエリア



更に左手を見たところ/丘陵の裾が大きな堀状になって回っている



さて、右手の道路を出郭・大手口方面へと進む



ここにも石造物があった



苦悲（くび）なし地蔵

昔、杉山に、金子屋という団子屋があり、親切できれいな娘がおり繁盛していました。

ある晩、泥棒が店の金、そして娘をさらい、逃げました。娘は途中、多右衛門の家の前で助けを求めました。昔、侍だった多右衛門は追いましたが、娘は斬られ、探すど首と胴は別々になり、変わり果てた姿になっていました。多右衛門は娘の供養にと、娘の顔に似たお地蔵さんを作り、毎月命日の二十四日には、お花やお線香をあげました。

ところがある晩、お地蔵さんの首を誰かが取り、幾度つけても、首だけがない、不思議な事が続きました。今も首のないお地蔵さんは、お参りした人々の「苦勞や悲しみがなくなる」ので、そのご利益から「苦悲なし地蔵」と呼ばれています。

平成二十八年九月吉日 金子敏雄 新井尚田 建之

これが、くびなし地藏





庚申洪養世安樂所

武品北金郡松山村施主

正徳四年甲午三月廿七日

正面に先程の出郭の平場が見えてきた



出郭のエリア/正面前方に緑色のキャブトイレが見える/中も綺麗に保たれていた



さて、いよいよ登城開始

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



発掘調査から、15世紀末～16世紀前半に山内上杉氏によって築城されたことが判明したと云う/応仁の乱に先行して始まった関東の戦国期に繰り広げられた「長享の乱」に於て、鉢形城(寄居町)を本拠地とする山内上杉氏が、河越城(川越市)を本拠地とする扇谷上杉氏に対抗するためであったらしい

国指定史跡 比企城館跡群

杉山城跡

50th 嵐山町は2017年で50周年
「みらいへ贈る歴史のまち 嵐山」

-戦国期山城の最高傑作-



杉山城は、平成29年4月6日に
「続日本100名城」に選定されました。
公益財団法人 日本城郭協会



杉山城の概要

杉山城跡は鎌倉街道を見下ろす丘陵上につくられています。傾斜が急な切岸(きりぎし)、各郭(くるわ)にめぐらされた横堀(よこぼり)と屏風(びょうぶ)のように連続する折れ、さまざまな形態の虎口(こぐち)などが複雑に組み合わさっていて、高度な築城技術の粋を集めたこの城は、実戦のための城としての風格をもち、戦国期山城の最高傑作と高い評価を得ています。

城郭研究者やお城好き、歴史ファンの方々が県外からも訪れる隠れた観光スポットです。

これまで築城年代や築城者が不明でしたが、国指定文化財にむけた発掘調査で出土した土器などから15世紀末から16世紀はじめ頃であることがわかり、さらに“杉山の陣”についての古河公方・足利高基の古文書も発見され、関東中が戦乱となった長享・永正の乱において関東管領・山内上杉憲房が扇谷上杉氏に対抗するために築城したということがわかってきました。

未だ、城郭の発掘調査が完了していないため、現在、保存整備計画も同時に計画中です。新たな発見、整備にご期待ください。



国指定史跡 比企城館跡群

杉山城跡

指 定 平成20年3月28日
時 代 戦国時代(1520年代ころ)
築城者 上杉憲房(関東管領山内上杉氏)
嵐山町大字杉山字中産 513 ほか

見学をされる方へお願い

- 城跡内での火気の使用は禁止します。
- ゴミは、お持ち帰りください。
- 城跡内を傷つけたり、汚さないでください。
- 盛土には登らないでください。
- 動物を捕獲したり、植物を採取しないでください。
- マムシなどの危険生物に注意してください。
- 自転車等での通行はしないでください。
- 他の来訪者に危険を及ぼす行為は禁止します。(ゴルフ練習、バッティング等)

杉山城跡の公式ホームページ

<http://ranzan-sugiyama.jp/>



嵐山町教育委員会 文化スポーツ課

<http://www.town.ranzan.saitama.jp/>



本郭付近の発掘調査の様子



城郭の様子



出土品



教育委員会発行の立派な冊子が置かれていた/そのマップと解説が大変参考になります/もちろん無料です



出郭

大手の前に配置された郭をいい、北側には低い土塁が見られます。
一見無防備な広い空間に見えますが、この説明板の部分には発掘調査によって溝が掘られていることが分かり、大手には直線的に進入できないような工夫がされています。



大手口方向へと進むと、左手にも説明板が立っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



出郭＝大手で、外郭への大手口がある/外郭から左手に進むと馬出郭がある



杉山城跡

指定 平成二十年三月二十八日

この城跡は、戦国時代の築城と推定される典型的な山城です。総面積は約八ヘクタールにも及び、山の高低差を巧みに利用して十あまりの郭を理想的に配置しています。まさに自然の要害と呼ぶにふさわしい県内でも屈指の名城と評価されています。現存する遺構の保存状態も非常に良く、複雑に入り組んだ土塁や堀によって構成される城構えには当時の高度な築城技術が偲ばれます。「馬出」や「枳形」の塁線を屈曲させて構える「横矢掛かり」の多用はその典型とされるものです。また、城の立地についても北方に越畑城・高見城と連絡し、西方全体に鎌倉街道を見下ろすという絶好の条件を備えています。当時の社会情勢から判断して、松山城と鉢形城とをつなぐ軍事上の重要拠点の一つであったと考えられます。築城年代や城主名等に不明な点も多いですが、地元では、松山城主上田氏の家臣杉山(庄)主水の居城と伝えられています。

この城跡は、すべて私有地であり地権者のご理解とご協力によって公開されているものです。文化財保護にご理解いただき、利用、見学をしていただくようお願いいたします。



平成十三年三月 嵐山町教育委員会

さて、大手口へと差し掛かる

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで右手を見たところ/土塁が見える



同じく、左手を見たところ/深い堀がある/その向こうは外郭のエリア



更に左手を見ると、馬出郭の南東下へ至る小道がある/右上は土塁



ここが大手口/正面の土塁の向こうは外郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



大手口

大手口は、左側へ細い通路を登ると外郭に入れますが、正面には高い土壘が立ちはだかっており、左側は深い空堀がし字形にめぐって左方からの横矢掛かりが仕掛けられています。また、防御だけでなく城内から反撃に転じることも想定して、右側にある二重の土壘奥の空堀道と、その右方にある馬出しに伏兵をひそませておくことができるようになっています。

大手口 横矢掛かり
イメージイラスト図

横矢掛かりとは？

虎口や土壘に近づく敵を横から弓矢で射るために設けられた工夫で、郭の奥縁を突出させることで死角を無くすることができます。



杉山城跡 案内図



そこで左手の深い堀を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



更に左手を見たところ/深い堀が回り込んでいる/左手は土塁/右上は外郭



その掘底から大手口と外郭の接続部を見上げたところ/右上が大手口/左上が外郭



大手口で左手の外郭方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左下を見たところ



これは大手口で右手を見たところで、二重土塁と堀が見て取れる/左上は外郭、右下は出郭



その二重土塁を別の角度から見たところ/右下が出郭



そこで右下の出郭方向を見たところ/前方に最初の説明板が見える



さて、これは大手口から外郭へと進んだところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



前方に説明板が立っているのが見える/その向こうは馬出郭



外郭 馬出郭口

外郭から南三の郭へ向かうには、馬出郭と呼ばれる小さな平場を通りますが、ここには空堀がありますので、本来は木橋を架けて渡らなければなりません。

この木橋は、敵の侵入に際しては、すぐに切り落とせるような簡易なものだったはずですが、この橋にも斜め上の南三の郭側からの強力な横矢が仕掛けられています。



堀に架かる木橋のイメージ
左は馬出郭



木橋のイメージイラスト

杉山城跡 案内図



外郭からこの堀を木橋で渡ると馬出郭/その先で右手に土橋を渡ると南三の郭へ至る

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ/この堀は左下の竪堀へと下っている



振り返ると、この堀は左手の南三の郭及び南二の郭(奥)の屏風折れの切岸と外郭(右手)の間を前方に続いている



その右手を見ると大手口が見える

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



外郭(左手)と馬出郭(右手)の間の堀底に下りたところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



この先は豎堀へと下っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



前方に進んで、振り返って見たところ/前方は南三の郭の切岸

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



堀は南三の郭の切岸の手前を右手に折れている



右手に折れた先を見たところ/前方で今度は左手に折れている/左手は南三の郭の切岸、右手は外郭 [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



前方に進んで、振り返って見たところ/左手は外郭、右手は南三の郭の切岸



左手に折れた先を見たところ/この先で右手に折れている/左手が南三の郭切岸、正面は南二の郭の切岸
([クリックしてビデオを見る](#))



前方に進んで、振り返って見たところ/正面及び左手は外郭、右手は南三の郭の切岸



右手に折れた先を見たところ/左手は南二の郭の切岸、右手は外郭/前方のバリケードと土嚢が置かれている所は、外郭から本郭方向へ続く帯郭状土塁/堀は南二の郭を取り巻くように左手に回り込んでいる



前方に進んで、振り返って見たところ/堀は手前で南二の郭を取り巻くように右手に回り込んでいる/左手が外郭、右手は南二の郭の切岸
([クリックしてビデオを見る](#))



左手が回り込んだ堀/南二の郭(左手)の東側の虎口へ向かう手前で止まっている/足元は外郭から続く帯郭状土塁/前方の上部が本郭/本郭への虎口(高い木の背後)も見える



前方に進んで、振り返って見たところ/帯郭状土塁は前方の外郭へと続いている/左手は谷側の切岸 [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



外郭 帯郭状土塁

外郭の北西角から延びて南二の郭の東側の裾へ向かう幅の広い土塁があります。内側に空堀があり、先端は豎堀に突き当たり行き止まりですが、上に上がれば本郭へと通じる帯郭へとつながります。

ここは、城の東側から入り込む谷に面しており、斜面の高低差が大きいところです。一段低い切岸下にも並行する横堀と土塁があります。東二の郭、三の郭とともに谷を挟み込み、本郭の防御を固める機能を果たすとともに、城内部の連絡通路としても重要な役割を担っています。



土塁の内側は堀となっている

杉山城跡 案内図



帯郭状土塁を戻って外郭の平場を見たところ/右手が南二の郭/そこに説明板が見える

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



こんな塩梅/背後は堀と南二の郭の切岸

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



外郭

外郭は、大手口の内側を守る郭です。二つの四角い空間が二つ連なっていますが、一方は南三の郭方面に、もう一方は、南二の郭下を通して本郭や東二の郭方面へと通じています。

南二の郭、三の郭側の塁線は、屏風を立てかけたように折れ曲がって聳えています。これを屏風折と呼びます。



南三の郭側塁線の屏風折

杉山城跡 案内図



さて、馬出郭まで戻って、こちらから南三の郭へと進もう



馬出郭で南三の郭(右手)への虎口を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



ここが南三の郭(前方上部)の南虎口/堀を渡る土橋となっている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



馬出郭

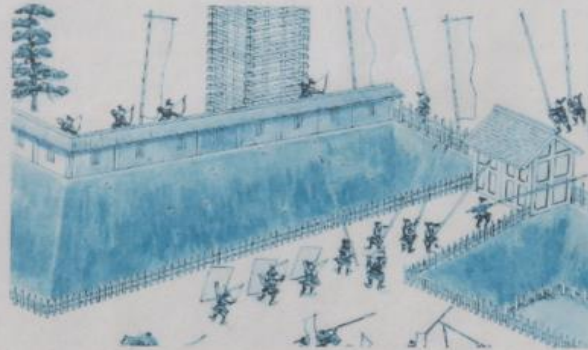
うまだし
馬出郭は、南三の郭と大手の間に位置する、堀で囲まれた小さな空間です。

南三の郭南虎口に向かい登っていくと左側の土塁が張り出してあり、横矢掛かりが設置され、防御の工夫を見ることができます。

馬出郭から南三の郭へ
イメージイラスト図

横矢掛かりとは？

虎口や土塁に近づく敵を横から弓矢で射るために設けられた工夫で、郭の塁線を突出させることで死角を無くすことができます。



馬出とは？

虎口(門)前方に配置され堀で区画された小さな郭をいいます。
攻撃の際には一気に攻めだすために兵を招集したり、守りの際には敵の攻撃から虎口を守るために兵の出入りを援護したりできるように造られた場所です。

杉山城跡 案内図



そこで振り返って見たところ/左手は外郭と馬出郭の間の堀が下って続く竪堀/右手は南三の郭を取り巻く帯郭と堀



これが右手の南三の郭を取り巻く帯郭と堀/右手は南三の郭の切岸



これは土橋から見た外郭方向/左手が南三の郭の切岸



南三の郭へと進む



南三の郭で振り返って見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



土橋をアップで見るところ



左手を見たところ



右手を見たところ



さて、ここが南三の郭/前方上部が南二の郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ/土塁が回っている



振り返って南虎口を見たところ



そこで左手を見たところ/土塁の状況



同じく右手を見たところ/土塁の状況



ここは南三の郭から南二の郭(正面上部)への「食い違い虎口」/左右の土塁が平行にずれていて、侵入する敵に側面から攻撃ができる
([クリックしてビデオを見る](#))





井戸跡

くるわ
南三の郭

南一の郭

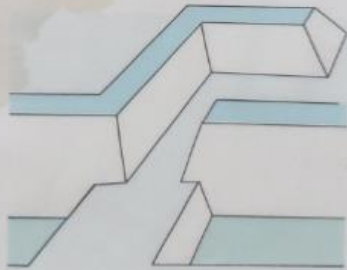


左右の土塁が平行にずれているために、侵入者は右手に折れなければ上部の南二の郭へと進めない [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



食い違い虎口

南三の郭と南二の郭の間の虎口は、左右の土塁が平行にずれている虎口（くいちがいこぐち食い違い虎口と言います）になっています。これも横矢掛りの変形で、敵の直線的な侵入を妨げ、二の郭内部を見えにくくする工夫です。



イラストイメージ



斜め右上に向かう坂小口

杉山城跡 案内図



くいちがいこぐち 食い違い虎口

敵が侵入する際に直線で進入できないよう土塁を平行にずらして防御し、方向転換させ行動を制限させるように工夫している虎口をいいます。杉山城跡では、ここ 1 箇所だけに見られる虎口です。

そこで左手を見たところ/前方へ進むと南三の郭西虎口へ至る



同じく右手を見たところ



右手に折れて南二の郭へと進む



そこで左手を見ると土塁の下に堀が平行している



同じく振り返って南三の郭を見たところ



「食い違い虎口」を進んで南二の郭に入る

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



振り返って「食い違い虎口」を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



ここが南二の郭/前方上部は本郭/右手は本郭への虎口

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



南二の郭から本郭へは、右手の東側の虎口から帯郭を進むルートと左手から井戸郭を通過して進むルートとがある



そこで左手を見たところ/ここを進むと右手が井戸郭/南二の郭・井戸郭(前方)・本郭(右手)の間には堀が巡っている



同じく右手を見たところ



同じく振り返って、南三の郭方向を見たところ/右前方が「食い違い虎口」



これはその少し左手を見たところ/玉ノ岡中学校の校舎が見える

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これは井戸郭(右手)への虎口に向かうルート



さて、正面上部は本郭の物見台のように高くなった土塁



そこで右手を見ると、堀底は帯郭から本郭へ進むルートである東側の虎口へと下っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



同じく左手を見たところ/南二の郭・井戸郭(前方)・本郭(右手)の間には堀が巡っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



その堀底に下りてみたところ/前方上部が井戸郭/右手は本郭の切岸/左手が南二の郭/井戸郭は左手に突き出た部分がある



その突き出た部分を見たところ/ここは井戸郭の土塁で、ここには櫓台があったのかもしれない



その左手を見たところ/この堀は井戸郭の虎口へと続いている/左手は南二の郭



同じく、右手を見たところ/正面の上部は井戸郭/堀は右手に折れている/右手は本郭の切岸



これはその右手に折れた先を見たところ/左手が井戸郭、右手は本郭の切岸/堀は前方で井戸郭を取り巻くように左手に折れている



これは振り返って、本郭への東側の虎口方向を見たところ/左手は本郭の切岸、右手は南二の郭



堀底を進んで、その東側の虎口を見たところ/左手は本郭の切岸、右手は南二の郭



東側の虎口はこんな塩梅/この道は右手に折れると外郭へ、左手に進むと本郭へと至る



前方が帯郭を通過して本郭に至るルート/左手は本郭の切岸



そこで振り返って堀底を見たところ/左手が南二の郭、右手は本郭の切岸



さて、ここは井戸郭への虎口/右手が井戸郭



前方が井戸郭/土橋を渡って進む/両サイドは堀

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



左手の堀を見たところ



右手の堀を見たところ



土橋をアップで見たところ



土橋上で左手を見たところ



同じく右手を見たところ



これは井戸郭から振り返って、虎口を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ/ここは櫓台があったのかもしれない突き出た部分の土塁

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



同じく右手を見たところ/土塁が回っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さて、ここが井戸郭/前方に説明板が立っている



この向こうは本郭で、井戸郭との間に堀が巡っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



井戸郭

井戸郭は、この南裾にある帯郭の水の手を守る役割を持った郭と考えられますが、本郭へ通じる3の小口の1つともなっています。本郭へは木橋を渡って入ることができますが、ここには左側から強力な横矢がしかけられていて敵の侵入を拒んでいます。

また、木橋下の堀は、南二の郭から東二の郭や本郭西側へと通じる堀道となっており、味方の兵にとっては便利な通路であったことがわかります。

井戸郭 横矢掛かり
イメージイラスト図

横矢掛かりとは？

虎口や土塁に近づく敵を横から弓矢で射るために設けられた工夫で、郭の塁線を突出させることで死角を無くすことができます。



杉山城跡 案内図



堀を渡る小口には木橋が架かる



正面は本郭で、井戸郭とは木橋でつながっていた/手前には堀が巡っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで右手を見たところ/櫓台があったのかもしれない突き出た部分の土塁が見える/その向こうは南二の郭



同じく左手を見たところ/堀は前方で左手に井戸郭を取り巻くように折れている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



堀底に下りて、その左手に折れる部分を見たところ



そこで振り返って見たところ/櫓台があったのかもしれない突き出た部分の土塁が見える



これは折れた先を見たところ/前方でも右手に折れている/左手が井戸郭、右手は本郭の切岸

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



その先に進んで、振り返って見たところ/堀は手前で左手に折れている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これが手前で左手に折れた堀/この堀は本郭に沿って真っすぐ続く堀と、左手に折れる堀とになっている



左手に折れる堀はこんな感じで下の豎堀へと下っている



これは井戸郭から西方向を見たところ/市野川を挟んで「鎌倉街道」が通っていたとされる方向を見たところ



この下には井戸郭が守備する井戸跡(大きな石がある所)が見える



これは南二の郭から井戸郭への虎口左手の堀が、その先で西側へと下っている様子/右手が井戸郭
([クリックしてビデオを見る](#))



さて、南三の郭まで戻る/ここは南三の郭の西虎口/説明板が立っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



南三の郭 西虎口

この虎口から西に下ると、細長い帯状(帯郭)が続きます。

右(北)に進むと井戸跡に向かい、途中の斜面には市野川沿い(城跡西側)から登ってくる敵に対して横方向への動きを防ぐための^{たてほり}豎堀が数本ご覧頂けます。

左(南)に進むと南三の郭の外側を半周して馬出郭に向かい、南三の郭南側の屏風状に折られた空堀をご覧頂けます。

杉山城跡 案内図



細い土橋の坂小口となっている



細長い土橋の坂虎口となっている/土橋の両サイドには堀が巡っている



そこで右手を見たところ



同じく左手を見たところ/この堀と帯郭(堀の外側)は、南三の郭(左手)を取り巻きながら馬出郭まで続いている



振り返って南三の郭の西虎口を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



後ろに振り返ると、傍にはこのような豎堀が下り落ちている



アップで見たところ



左手を帯郭に沿って馬出郭へと進んで見よう

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



ここで左手に折れて、東方向に進む



堀と帯郭は南三の郭(左手)を取り巻くように前方でも左手に回り込んでいる



そこで堀底に下りて見たところ



その先はこんな塩梅/正面の上部が馬出郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



左手を見たところ/馬出郭から南三の郭への虎口が見える



振り返って西方向に堀と帯郭を見たところ/南三の郭の西虎口へ戻るように進む

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで堀底に下りて見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



ここで北方向に折れている/この前方でも左手に折れている/右手が南三の郭



その左手に折れた先を堀底に下りて見たところ/今度は右手に回り込んでいて、そこが南三の郭の西虎口



振り返って見たところ/前方で東側に折れている



さて、これは南三の郭の西虎口から右手(北方向)を見たところ/この先に井戸跡がある



井戸跡へと少し進み右手を見ると、南二の郭(右手)から井戸郭(左手)への虎口の左手の堀が続いてきた先端が見える
([クリックしてビデオを見る](#))



振り返ると、傍には豎堀が下り落ちている



右横から見たところ



さて、前方に説明板が見える/右手は井戸郭の塁壁



石が置かれている所が井戸跡/背後の上部が井戸郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



井戸跡

現在、城跡内で確認されている井戸跡は、この1箇所です。

地山が岩盤なので、現在でもほぼ一年中水がしみ出しており、春先には山椒魚の産卵場所となっています。

蓋の石は、おそらく城の造成の際に掘り出されたもので、このように蓋をしたのは、廃城の際に敵方に使われないように「水の手を断つ」ためだと思われます。



井戸跡を塞いでいる大石

杉山城跡 案内図



これが井戸跡/確かに水が溜まっている



左手から見たところ



そこで左手を見ると、先に見た井戸郭と本郭の間から下って来る堀が見える

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



後ろを振り返ると、豎堀となって下り落ちている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



その先を見たところ



これは井戸跡の先の北方向を見たところ/この先は本郭の北虎口や、その先の北二の郭へと続く



さて、次は本郭→東二の郭→東三の郭→本郭北虎口→北二の郭へと進もう



南二の郭あるいは外郭から帯郭を通過して本郭へと向かう/前方の左上に登る部分が本郭の東側の虎口 [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



左手を見たところ/本郭の切岸と堀/右手が本郭への東側の虎口



右手を見たところ



これが本郭の東側の虎口/この上部が本郭



そこで左手を見たところ/正面前方は南二の郭/左手は外郭/右手は本郭の切岸



同じく右手を見たところ/こちらが東二・三の郭方向/手前は右手に下り落ちる豎堀



これは後ろを振り返って見たところ/深い谷底となっている/玉ノ岡中学校の校舎も見える



その右手を見たところ



同じく左手を見たところ/前方は東二の郭



さて、ここが本郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



左手を見たところ



右手を見たところ



振り返って東側の虎口を見たところ





北二の郭

本

くるわ
郭

東二の郭



標柱や説明板などが立っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



「史跡 杉山城跡 埼玉県」と刻まれている





国指定史跡

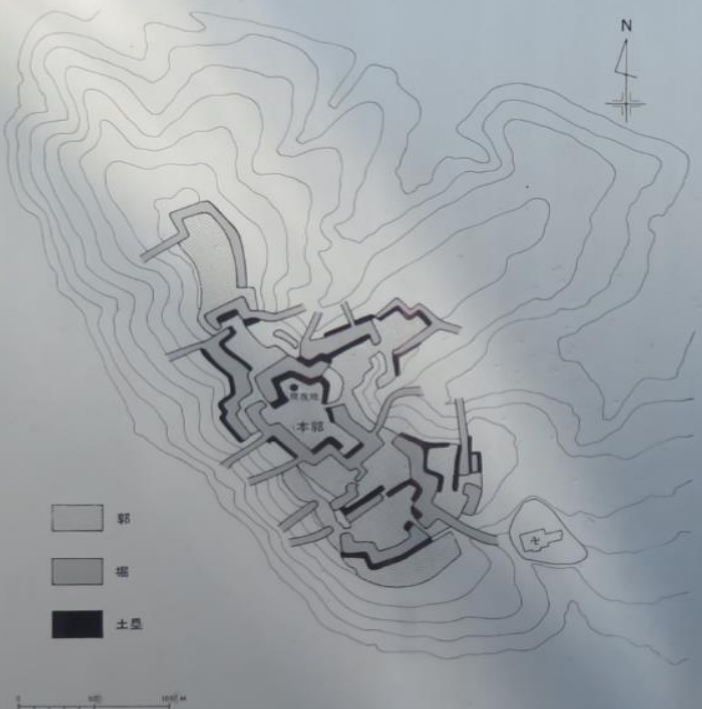
杉山城跡

平成二十年三月二十八日 指定

この城は、室町〜戦国時代の築城と推定される典型的な山城である。総面積は七・六ヘクタールにも及び、急峻な丘陵を巧みに利用して十余の郭を理想的に配している。まさに自然の要害と呼ぶにふさわしい県内でも有数の城である。現存する遺構の保存状態も非常に良く、複雑に入り組んだ土塁や堀によって構成される城構えに当時の高度な築城技術が偲ばれる。

また、城の立地についても、北方で四津山城・高見城・越畑城に連絡し、南方に鎌倉街道を見下して、その遠方に小倉城を臨むという絶好の条件を備えている。当時の社会情勢から判断して、松山城と鉢形城とを連絡する軍事上の重要拠点であったと考えられる。

築城年代や城主等に不明な点も多いが、一説には、松山城主上田氏の家臣杉山（庄）主水の居城と伝えられている。



昭和六十一年三月

埼玉県教育委員会
嵐山町教育委員会

これは説明板等の背後の土塁/その先には北二の郭との間の堀が巡っている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



土塁の上には小社が祀られていた



こんな石祠も・・・



土塁上で南方向に本郭のエリアを見たところ



説明板等の前から南方向に本郭のエリアを見たところ



こちらは本郭の南端の柵形的空間/正面は物見台のように高くなった土塁/右手は井戸郭への虎口 [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



ここは右手の、井戸郭(前方)への木橋が架かっていた虎口

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



本郭 井戸郭口

本郭へ通じる3の小口の1つになっています。本郭へは木橋を渡って入ることができますが、ここには右側から強力な横矢がしかけられていて敵の侵入を拒んでいます。

本郭は、この部分を突出させて横側に小口を設けています。このような小口の形態は、比企型小口とも呼ばれています。

本郭(井戸郭口) 横矢掛かり
イメージイラスト図

横矢掛かりとは？

虎口や土塁に近づく敵を横から弓矢で射るために設けられた工夫で、郭の塁線を突出させることで死角を無くすことができます。



遠くの山すそに鎌倉街道を見下ろすことができる。

杉山城跡 案内図



前方が井戸郭/手前に堀が巡っている/こうして見ると、井戸郭は実質的には本郭の馬出の機能を果たすようだ



右手を見たところ



これは物見台のように高くなった土塁上から北方向に本郭を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さて、本郭東側の虎口から東二の郭へと進む

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



ここが東二の郭/説明板が立っている



東二・三の郭

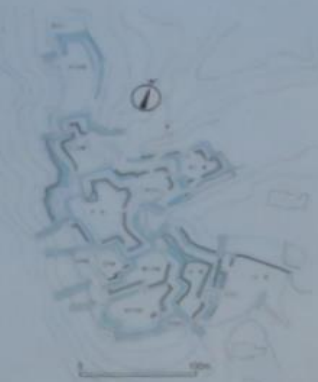
本郭の北東側の尾根に作れた東二の郭は、全体的に東三の郭に向かって自然の地形のまま、穏やかに傾斜しています。

東二の郭と三の郭の間の虎口は、杉山城跡では珍しく直線的な坂虎口となっています。手前左側の虎口は、本郭からの高低差によって守られ、北二の郭への通路となっています。

東三の郭は、二の郭側の左隅に小口を設けた郭馬出の構造となっています。東三の郭の先は平坦で広い尾根が長く伸びていますが、自然地形のまま、城普請をした形跡はありません。



杉山城跡 案内図



手前が東二の郭、奥が三の郭

これは振り返って本郭の東側の虎口方向を見たところ/左手は豎堀



その竖堀を真上から見たところ



これは西側から見た東二の郭/北辺に沿って土塁が続いている/この土塁の向こうが東三の郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



近づいて見た東二の郭/左手が土塁



左手の土塁を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ/前方の本郭の切岸と手前の土塁との間は、堀道となって本郭と北二の郭(右手)との間に続いている



さて、ここは東二の郭から東三の郭への坂虎口

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



土橋を渡って東三の郭へ進む



ここが東三の郭/ここより前方は平坦で広い尾根が長く延びる自然地形



振り返って土橋を見たところ/両サイドは堀/前方上部が東二の郭



これは右手から土橋と堀を見たところ/右上が東二の郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これは左手の堀底から土橋を見たところ/左手が東二の郭



北側から見た東三の郭/前方に土塁と堀が見える



近づいて見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手の自然地形を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さて、本郭の西側から北三の郭へと進む

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



西側を下ると堀を渡る土橋がある/ここは本郭の北虎口/右手に進むと北二の郭方面



本郭 北虎口

北方面の虎口は、強力な横矢掛かりよこやがに守られています。
南西の井戸跡方向から帯郭を登り進んできた敵は、大きく回り込まなければ本郭に侵入できないよう工夫されています。
虎口の前には、小さな平場こぐち（虎口受けと言います）が見られます。

北虎口 横矢掛かり
イメージイラスト図

横矢掛かりとは？

虎口や土塁に近づく敵を横から弓矢で射るために設けられた工夫で、郭の塁線を突出させることで死角を無くすことができます。



小口には左からの横矢がかかる

杉山城跡 案内図



土橋をアップで見るところ



右手の堀を見たところ/この先は本郭(右手)を取り巻くように右手に東二の郭方向へと続いている [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



このように、ここで右手に回り込んでいる/右手は本郭/左前方は北二の郭



右手を見たところ/この先は東二の郭方向/右手は本郭/左手は北二の郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これは土橋の左手を見たところ/堀と帯郭が南方向に続いている/左手が本郭の切岸



そこで振り返って北虎口を見上げたところ/正面上部が本郭



堀に沿って帯郭を南方向に進んでみよう



そこで、もう一度振り返って北虎口方向を見上げたところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで後ろを振り返ると、西側斜面下に沿って土塁と横堀が見える

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



左手を見たところ



右手を見たところ



更に帯郭を南方向に進むと、土橋がある/前方は井戸郭、左手は本郭の切岸

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これが土橋/井戸郭と本郭との間の堀が本郭に沿ってここに下って来ている/右手は豎堀となって下り落ちている



反対側から見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



土橋をアップで見るところ/左手が豎堀



竪堀を上から見下ろしたところ



豎堀を少し下って、右手を見ると西側斜面下に沿って土塁と横堀が見える



その更に右手を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



振り返って竪堀を見上げたところ



さて、次は北二の郭→北三の郭→搦手口、そして北側からの登城口へと進む



ここが北二の郭/前方に櫓台があったような高くなった土塁が見える

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これはその高くなった土塁の上で、北二の郭を見たところ/手前の右手が北三の郭への虎口

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



同じく、北三の郭を見たところ/手前に堀が巡っている



その堀を見下ろしたところ



左手を見たところ



右手を見たところ/堀は土塁の角で右手に折れている



その右手を見たところ/堀は更に右手で東方向に豎堀となって下り落ちている



さて、ここが北三の郭への虎口



これは反対側から虎口の土橋を見たところ/両サイドは堀/左手が櫓台があったような高くなった土塁



土橋をアップで見るところ



左手を見たところ/ 櫓台があったような高くなった土塁(右手)を取り巻くように堀が回り込んでいる/ 左手は北三の郭



正面が櫓台があったような高くなった土塁

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



堀底に下りて前方(東方向)を見たところ/左手が北三の郭



そこで右手(南方向)を見たところ/前方が虎口



さて、東方向に堀底を進んでみる



堀は東側で南方向に折れていて、これは振り返って進んで来た方向を見たところ/右手が北三の郭



これはその南方向に折れた先を見たところ/堀はこの先で、左手(東方向)へと豎堀になって下り落ちている



その先(南方向)に進んで、振り返って見たところ/前方で櫓台があったような高くなった土塁(左手)を取り巻くように、堀が左手に折れている



これは堀の先端が左手(東方向)に豎堀となって下り落ちている様子を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さて、虎口の所へ戻って土橋の右手を見ると、堀が豎堀となって右手に下り落ちている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



その下り落ちた先を見ると、斜面中段に横堀と土塁が前方(南方向)に続いているのが見て取れる [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これはそこまで下りて、南方向に横堀と土塁(右手)を見たところ/左上が北二の郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



同じく正面に土塁を見たところ/左手が横堀/竪堀(手前)は更に右手に下り落ちている



そこから豎堀を見上げたところ/この上は北二の郭

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



さて、虎口から北三の郭へと進む/右手の平場が北三の郭



こんな塩梅/前方が北方向

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



振り返って見たところ/前方が北二の郭の櫓台があったような高くなった土塁があった所



これは北三の郭の北端で、その先の搦手口及びその間を巡る堀を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



ここは北三の郭の北端(右手)の左手で、搦手口との間の堀がこちらへ回り込んでいる/手前は搦手口への土橋となっていて、堀は左手に豎堀となって下り落ちている
([クリックしてビデオを見る](#))



左手の堅堀を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



左手に回り込むと搦手口/右手は北三の郭(右手)との間の堀(堀切の機能)

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



正面が北三の郭(右手)と搦手口(左手)との間の堀

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



その堀は北三の郭を取り巻くように続いている/右手が北三の郭



そこで振り返って見たところ/左手が北三の郭/右手が搦手口



堀は更に北三の郭(右手)に沿って横堀として南方向に続いている



その先の南方向に進んだところ/右手が北三の郭



そしてその先に進むと、正面が北二の郭の櫓台があったような高くなった土塁/右手が北三の郭との間の堀/左手に進むと堀は豎堀に続いている
([クリックしてビデオを見る](#))



さて、これは北側から見た搦手口/緩やかな斜面となっている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これは櫓手口(手前)から北方向を見たところ/ここを下って進むと北側からの登城口がある



緩やかに下って進む/前方に道路が見えてきた

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



説明板が立っているの見える



ここが北側の登城口

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



左手を見たところ



これは道路を左手に進んで振り返って見たところ/左手が城域/この道路は切通になっているようだ [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



付近にはこんな石造物も並んでいた



参考ホームページ

<http://ranzan-sugiyama.jp/>

<https://sirotabi.com/5908/>

<http://umoretakojo.jp/Shiro/Kantou/Saitama/Sugiyama/>

<https://sengokubook.com/sugiyama-castle-as-reference-for-construction/>

<https://wp.mikeforce.net/castles/2017/06/杉山城—sugiyama-castle.html>

<https://blog.goo.ne.jp/ihcirot/e/3b9721538d40a78547a490614ce4cdc6>

<https://blog.goo.ne.jp/mugiide/e/f6da933aed8efe175d5c8471bc43b50d>

http://www.ranhaku.com/web05/c2/1_03.html

<https://ckk12850.exblog.jp/3680620/>

<http://www.hb.pei.jp/shiro/musashi/sugiyama-ivo/>

<http://yogoazusa.my.coocan.jp/sugivamaran.htm>

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/011saitama/113sugiyama/sugiyama.html>

<http://www5.plala.or.jp/tutinosiro/saitama.html>

